

ストリートライブ

《はじめに》

街中を歩いていると駅に近くからギターやピアノの弾き語りをしている人や繁華街でカラオケを流して歌っている人、また大きな代々木公園からはコンガやジャンベ等の太鼓を叩いている人、バンド形式で演奏をしている人等さまざまなストリートミュージシャンを見かけることがある。

ストリートミュージシャン（英語：street musician）は、繁華街の道路上や駅前、公園などで演奏しているアマチュアミュージシャンを指す⁽¹⁾

ストリートミュージシャンとは自宅、スタジオ、ライブハウス等といった屋内で演奏する人達のことだけでなく、いわゆるそういった道路、駅前、公園などの屋外で演奏している人達のことを指す。

路上では車や工事をする音、お店が流している音楽など自分たちの音楽をするには最適な場所とはまったく言えない。それなのにもかかわらず、なぜ一部のミュージシャンはライブハウスやミュージックカフェ、スタジオといった音響設備が整った環境があるのにも関わらず街の雑音の中でストリートライブをするのだろうか？またミュージシャンが路上で演奏する理由、目的などを考え論じていこうと思う。

またこの本論の一部で、ストリートライブの良いところを見つけて考え論じていきたいと思っている。例えば、ストリートライブをする事によってミュージシャンたちのプロモーション効果があるのではないかと私は考えている。そのことに関しては実際にストリートライブをしている人にアンケートしてみようと思う。

この論文を通して、まだ路上ライブをしたことのないミュージシャンはストリートライブの魅力について知ってもらおうと思い私はこの論文を書いた。

《ストリートライブをしている人は一体どういう人》

実際ストリートミュージシャンとは一体どういう人がいるのだろうか？初めにストリートミュージシャンから有名になった人といったら「ゆず」「19」「コブクロ」「サスケ」⁽¹⁾といったディオをまず初めに思い浮かぶであろう。そして今ではメディアに映っている「YUI」「川嶋あい」⁽¹⁾といったソロで活動しているシンガーソングライターも初めはストリートライブの活動をしていた。意外なことにも「いきものがかり」「シャ乱 Q」「Do As Infinity」⁽¹⁾といったバンド形式のミュージシャンも元はストリートミュージシャンであったことも調べていくことに分かった。このようにメジャーの音楽業界で活躍されているミュージシャンで元は路上ライブ出身の人は少なくない。それに憧れて夢見て路上に出ていく、ミュー

ジシャンもいるだろう。しかし、2006 年に出版された「路上音楽」という本の中には、このように記されている。

マスコミは、「路上音楽」としてメジャー・デビューを果たしたゆずやコブクロの影響、あるいは、彼らと同じようにプロへのパスポートをつかむため、と簡単に片付ける。だが、それは、路上で演奏するきっかけに過ぎず「歌い続ける理由」では決してない。単純に歌い出すきっかけにしても年齢、音楽性の違いによって一様ではない。(2)

本当は、駅前、繁華街で演奏されているストリートミュージシャンはどういった人たちだろうか？何を目的に路上ライブをしているのか？その調査方法として実際に東京都内のストリートミュージシャンを見に行ったり、インターネットを通して、mixi (註1) の「ストリートミュージシャン」「路上ライブ」というコミュニティーに参加されている方 1 人 1 人にメッセージを送る形でアンケート調査 (註2) をしてみた。

路上調査

すべてのストリートミュージシャンがすべてメジャー・デビューをするといった目標を掲げている訳ではないことは分かる。筆者はよく新宿の大ガードを通ることがある。そこでは東南アジアのようなエスニック調な民族音楽のような楽器で演奏されている人をよく見かける。このような民族音楽されている方にとって路上はとても良いステージだと思われる。なぜなら、そういった民族音楽は音楽のジャンルの中ではマニアックな位置であるからだ。ライブハウスの対バンなどでライブをするより路上で演奏している方が本当にその音楽に興味のある人、またその音楽、演奏者を必要としている人に会える確立か高いからである。また日本大半のリスナーの感覚では民族音楽は意識して聴こうというジャンルではなく、その空間にあった良い感じの BGM として聞こえてくるジャンルだと筆者は感じている。

また西武新宿駅前、渋谷でジャズを演奏されている、人だかりができるほど、上手なバンドを見かける。まさかジャズをされているバンドはメジャー・デビューを意識して路上ライブをしているとは考えにくい。それは営業宣伝、(プロモーション) をするためにストリートライブをされていると考えられる。

半年を越えてしぶとく続けるのは、プロのミュージシャンが営業宣伝のために事務所の要請で続ける場合か、自分なりの路上で音楽を演奏する意味を見つけ出した者だけだ(2)

そのジャズバンドは同じ場所で何回か演奏しているところを見かける。しかし、オリジナルを演奏せず、ジャズスタンダードを演奏している。メジャー・デビューを目指してい

る感じではなく、自分たちの営業宣伝の為に路上ライブをやっている。

それ以外にもいろいろなストリートミュージシャンが路上で演奏している。とても今流行りのポップな感じの音楽を演奏してたくさんのお客さんが立ち止まって聴いてもらっているストリートミュージシャンがいたり、素晴らしい歌や演奏をしているにもかかわらず、あまり立ち止まって聴いてくれるお客さんがいなかったり、新宿大ガードのように異国を感じさせる民族音楽やっていたりする。

ストリートミュージシャンのファッション、格好を観察してみたところ、下はジーンズで上はワイシャツやパーカー等それにちょっと帽子をかぶっているような人が多い。思っていた以上にとてもラフな感じで、道を歩いている歩行者とあまり変わらない感じであった。路上ではそういった格好をしているストリートミュージシャンの人が多く見られる。あまりステージ衣装のような格好で演奏している人はそんなに少なかった。また演奏者は道を歩いている通行人に対しては「良かったら聴いてください」ぐらいの程度にしか言っていなかった。通行人に迷惑をかけないように気を使っているのが分かる。1人が大音量で演奏したり、ゴミをそのままにしていたり、マナーを守らなかったらその地域では路上演奏が禁止になることもあるからだ。

演奏のやり方を筆者の地元（秋田）と比べたところ、地方の方では生声、生音で演奏しているミュージシャンが多い。それに対し東京では生声、生歌で演奏する人たちはあまり見当たらず。ほとんどのストリートミュージシャンはマイクと持ち運びか手軽にできる小さい電池式のアンプを使っている。生声や生音で演奏しているストリートミュージシャンは歌声を聞かせるというよりは声を張り上げて、演奏のクオリティを重視せず頑張っている感じさせられた。マイクやアンプを使ってストリートライブをしているミュージシャンは小さく繊細な声でもはっきり聞こえ演奏のクオリティを重視してストリートライブをやっている。特に生声で歌っているミュージシャンとマイクを通してのミュージシャンのどちらが良い悪いという訳ではなく、地方の静かな場所では生声でも大丈夫だが、電車や車のお店の音で騒がしい都会の方ではマイクとアンプを通さないと演奏を聴くのは困難である。

アンケート調査

直接ストリートミュージシャンの方に出向きアンケートを取って見たり、インターネットの mixi（註1）を通してストリートで活動されているソロで弾き語りをされているソリスト 25 人、それぞれユニット組んでいる方 9 人、それぞれバンドを組んでます方 6 人、全部で 40 人のストリートミュージシャンにアンケートを取ってみた。この 40 人のミュージシャンたちに（註1）の項目を質問した。この論文では「問 9. 路上ライブする目的は？複数選択されても構いません」と「問 11. 路上ライブの良いところは何ですか？複数選択されても構いません」という質問をもとにこの論文では考えていこうと思う。他の質問事項を使わない理由：（年齢集計をしようと思ったが mixi のユーザー数が 20 代の

人に集中する為)、(路上でのライブ告知、CD 販売、立ち止まってくれた数、自分や曲を知ってもえた結果は上手く集計が集まらなかった為、集まったとしても路上やっている場所、期間、時間帯がバラバラなで集計を取るの厳しいと思われたから)

問 9. 路上ライブする目的は？複数選択されても構いません

- a. 路上ライブ以外のライブの告知
- b. CD の販売
- c. 練習
- d. 自分または自分たちを知ってもらうため
- e. 自分の曲または自分たちの音楽を知ってもらうため
- f. ファンを増やすため
- g. その他 ()

問 11. 路上ライブの良いところは何ですか？ 複数選択されても構いません

- a. 不特定多数の方に聴いてもらえる
- b. 無料で演奏することが出来る
- c. ミュージシャンとの横のつながりが出来る
- d. プロモーション効果がある
- e. その他 ()

いくつか選択肢に設け、複数選択しても構わないことにした。

アンケート結果

「問 9. 路上ライブする目的は？複数選択されても構いません」という質問の結果は「a. 路上ライブ以外のライブの告知」を選択された方は 17 組、「b. CD の販売」を選択された方は 15 組、「c. 練習」を選択された方は 23 組、「d. 自分または自分たちを知ってもらうため」を選択された方は 25 組、「e. 自分の曲または自分たちの音楽を知ってもらうため」を選択された方は 24 組、「f. ファンを増やすため」を選択された方は 21 組では、e のその他を選らんだ方は楽しいから、音楽が好きだからといった自己満足をするためと答えた人が 14 組いた。

「問 11. 路上ライブの良いところは何ですか？ 複数選択されても構いません」という質問の結果は「a. 特定多数の方に聴いてもらえる」を選択された方が 30 人、「b. 無料で演奏することが出来る」を選択された方は 29 人、「c. ミュージシャンとの横のつながりが出来る」を選択された方は 20 人、「d. プロモーション効

果がある」を選択された方は 19 人、

問 9 で d の自分という存在をアピールする為、e の楽曲を知ってもらおう為というのは多いと予想していたが、以外にも a のライブ宣伝、b の CD 販売目的に路上ライブをしている方が少ないことが分かった。また c の練習をするためと答えた人が意外にも多かったことに驚いた。路上ライブは、聴き手の反応を見たり、意見を頂くには、とても最適場所だと思われる。良い機材で良い環境で練習するにはもちろんストリートに出て練習するより、スタジオを借りた方が良いに決まっている。e で答えてもらった「ただ単に音楽を楽しみたい、自己満足の為に演奏する」というのならスタジオを借りたり、家でやっても同じである。やはり路上に出て演奏しているという事は、少しは誰かに聴いてほしい、演奏している姿を見てほしいと願望があるからではないだろうか。

井手口彰典さんの論文「非-芸人としてのストリートミュージシャン」に出てくるヤスユキさんのインタビューでこのように記されている。

ーヤスユキさんにとって、歌を聴いてほしいのはどんな人ですか？

別に誰にも聴いてもらえなくていいんですよ。誰も聴かなくても全然平気で歌えますし、むしろなんていうんですかね、人と話すのが苦手なんです。 (向こうから) 全然話しかけてくれれば大丈夫なんです。でも、話しかけてこおへん子に、 (こちらからは) 全然話しかけないじゃないですか。んで明らかに (自分の歌を) 聴いてくれてるなどは分かるんですけど。自信がないからこちらからは話しかけへんし。声をかけてくれたらもうむっちゃ話せますけど。なので、来てくれたらほんまにうれしいですし、いいように歌ってあげたいって思うけど、基本的に……。今は別に、ほんまにストレス解消、気晴らし、みたいな感じでやってるんで。(3)

このインタビューの中ではヤスユキさんは気晴らしにやっているから誰も聴いてくれなくて良いと言っているが、でもやはり聴いてもらえなかったり、自分に興味を持って話しかけてもらえないよりは、聴いてくれて話しかけてくれると嬉しいのである。それもヤスユキさんの足を路上に運ばせる理由の一つではないだろうか。

問 11 で路上ライブの良いところを聴いたところ a の不特定多数の方に聴いてもらえる、b の無料で演奏が出来る、と答えた人が多かった。ライブハウスだと聴きに来てくれるのは自分の家族、友達、知り合いがお客さんになるだろう。対バンであつたら対バンのお客さんがリスナー対象になるだろう。そうしたら、自分の曲を聴きに来てくれる人は限られてくる。またノルマがあつたり、機材費がかつたり、金銭的にも大変である。ある一部を抜かしてそういった心配はない。c. ミュージシャンとの横のつながり、d. プロモーション効果があるという事は半数の人が魅力を感じていない。プロモーション

ン効果があると言っても人それぞれ結果はバラバラであるかめ仕方ない。e. のその他を選んだ方は、人それぞれ回答はバラバラで「学べる」「練習できる」という人もいれば「路上は路上にしかない楽しさがある」と答える人もいる。面白い意見として「風が気持ちいいから」と書いてあった。ライブハウス、スタジオとは違った。外という空間をその人は楽しんでいるのだろう。

《プロとアマチュアの違い》

なぜこの違いに津う手考えようと思ったかというウィキペディアで「ストリートミュージシャン」と検索するとこのように記されている。

ストリートミュージシャン（英語：street musician）は、繁華街の道路上や駅前、公園などで演奏しているアマチュアミュージシャンを指す(1)

と示されている。以前、私はストリートミュージシャンが演奏する音楽に少し偏見を持っていました。私の中では音楽とはライブハウス、ミュージックバー、コンサートホールで演奏しているイメージが強く。野外で演奏している音楽は軽い音楽というイメージでしたが、しかしそれは間違いでした。路上で演奏している人でも凄く実力を持っている演奏者も多くいる。私はストリートミュージシャンの人たちをアマチュアミュージシャンという定義は間違えていると感じる。

プロミュージシャンとアマチュアミュージシャンの違いは何？と聞かれた時にいろいろな答えがあるだろう。

“アマチュア”と“プロ”の違いとは「プロのほうがアマチュアの歌は楽器の演奏が数段うまい」とか「プロの歌とアマチュアの歌は比べものにならない」といった楽器演奏能力や歌唱力等の差にあるのではなく、それらの活動が“趣味”なのか“職業な”のか“無償の活動”なのか“有償の活動”なのかという違いであります。(4)

まず一つは、プロは有償、アマチュアは無料でやって頂く。プロのミュージシャンはギャラをもらって仕事の依頼を受ける。それとは対照にアマチュアミュージシャンはギャラを頂かず依頼を受けたり、チケットのノルマがあったりする。あるいは報酬を頂くところか参加費、機材費を依頼者側に支払う形になる。つまりはビジネスとしてやっていくことができ、仕事として成り立つのかを見てプロフィッショナルか判断する場合である。果たしてどのくらいの報酬をもらったならプロと言えるのだろうか？例えば結婚式の披露宴パーティーで歌を披露し、謝礼を1回もらっただけでプロフィッショナルのミュージシャンと言えるだろうか？ストリートライブをして通行人に投げ銭という形でお金を少し頂いたら

プロと言えるのだろうか？ここで疑問が生じる。

また別の答えとしては音楽プロダクションに所属し、名の知られているレコード会社で CD を制作し全国の CD ショップで CD を出したか出していないかでプロかアマチュアかと考える人もいる。細かく言うとメジャーかインディーズかでプロかアマチュアか別ける人もいる。しかし、僕の知り合いのシンガーの一人は有名なアーティストのバックでコーラスを歌ったり、ディズニーの歌や CM ソングなどの歌を歌ってちゃんとギャラを貰ってスタジオミュージシャンの仕事をしている。しかし、プロダクションには所属せず個人経営という形で歌の仕事をしている。その人はアマチュアなのだろうか？

他のスタジオミュージシャンの方でもプロダクションに所属しないで、無所属の人もいる。しかし、プロダクションに入っていないスタジオミュージシャンだからと言ってその人はアマチュアミュージシャンではない。なぜなら、メジャー・デビューした人よりもスタジオミュージシャンの方のほうが演奏の技術は高く歌のプロフィショナルであるからだ。メジャーアーティストに求められるのは魅力的な声、音楽、キャラクター性である。

一昔前のメジャーアーティストと言ったら「美空ひばり」「広瀬香美」等といった実力派歌手も多かったが、今は音楽業界でシンガーに求めるものが変わり、「椎名林檎」「ジャニーズ」「AKB48」「騎士団」「パフューム」等といった歌の実力よりは個性的な声、面白いキャラクター性が求められるようになった。今の音楽業界は産業化が進み売れるか売れないか、視聴者に受けるか受けないか、の世界になっている。現代のメジャーアーティストと対照的でスタジオミュージシャンに求められるのは、歌の表現やキャラクター性ではなく、演奏や歌の技術である。例えば音程のピッチは正確か、リズムは正確か、限られた時間の中で仕事は早くこなせるのか。スタジオミュージシャンはこの音楽業界の演奏に関してはスペシャリストであると言われている。しかし、スタジオミュージシャンの人でもスタジオの仕事だけでは生計を立てていくのは厳しい世界だと伺った。

話を戻し、路上で活動をしているストリートミュージシャンはみんなアマチュアなのか？確かにストリートミュージシャンの大半はアマチュアミュージシャンである。だがプロだからと言ってストリートライブをやらない訳ではない。その例として私の知り合いでオーディションに合格して有名なレコード会社からメジャー・デビューした方がいる。しかし、その方の話を聴くと路上ライブさせられていたという話を聞いた。この不況の中、大手のレコード会社も経営が苦しく。宣伝費、広告費などの経費削減の為にその人にカラオケを使って路上ライブをさせていたのだろう。また路上ライブは不特定多数の人に聴いてもらえることによってそのアーティストの実力を測ることができると思う。もしかしたらそのレコード会社もその人に路上ライブをやらせて技量を測っていたのかもしれない。メジャーでも CD が売れなくなっているのは事実であるから慎重になるのは当たり前だ。

先ほどの話で出した、新宿や渋谷で演奏しているジャズ・バンドもスタジオミュージシャンクラスの高度な演奏技術をもっているミュージシャンもストリートライブをしている。やはり上手でみんなが認めることもあって、周りには人だかりが出来ていて、チラシをも

らっていく視聴者やお金をケースに入れていく歩行者も多数いる。

プロのミュージシャンとアマチュアのミュージシャンの境界線は人それぞれ考えが違い、実に曖昧なものになっていると感じたが、私は路上で演奏しているからといってストリートミュージシャンがみんなアマチュアミュージシャンとは限らないと考えている。プロのミュージシャンでも路上ライブで自分のプロモーションをしている方が増えて来ているのではないかと感じる。

《最後に…》

音楽をやっている人の大半は誰かに聴いてもらいたいという願望はあるでしょう。しかし、ライブハウスだとお金がかかったり、聴きにに来てくれるお客さんも限られた人たちが対象になってしまう。路上では自分の知り合いでない人たちにも自分の曲を聴いてもらうことができる。また自分のやっている音楽を聞いてくれて「いい」言ってくれる人に出会えるかもしれない。そういった可能性をストリートライブには秘めている。ライブハウスにない魅力が路上ライブには溢れている。これから路上ライブをやろうか考えている人は是非、路上に出てその魅力を肌で感じて見てはどうだろうか？

最近、東京都内で路上禁止区域になった地域がある。代々木公園、秋葉原など。せっかくそういった環境があるのだから路上のルールを守っていい路上ライブを行おう。

引用文献

- (1)ウィキペディア日本語版「ストリートミュージシャン」2011年1月10日(月)07:36の版
- (2)路上音楽、青柳文信、星雲社(2006)
- (3)[論文]「非-芸人」としてのストリートミュージシャン、井手口彰典、大阪大学大学院文学研究科(2004)
- (4)音楽ビジネス仕組みのすべて、湯浅政義 オリコン・エンターテイメント株式会社(2004)

註1

Mixiとは日本を代表するSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の中の一つである。Mixiではブログのように日記やコメントを書いたり、有名人や趣味等といった、いろいろなカテゴリーのコミュニティーがあり、そのコミュニティーの中でメッセージのやり取りで情報交換する人もいたり、趣味の合う友達を作ったりすることが出来る。インターネット上でコミュニケーションをするサービスである。

註 2

「実際に調査した時のアンケート」

初めまして

ストリートミュージシャンのコミュニティーからお邪魔しました。

私は今、路上ライブについて調べています。

路上ライブをする事によってどういった効果があるのか？

またどれだけのプロモーション効果があるのか？

等を実際、路上ライブをやってらっしゃる方にアンケートを取る方法で調べていたらなと考えています。

12 問ほど伺いたい事があります。

宜しければアンケートにご協力ください。

《アンケート》

問 1. あなたの性別は

1 男性 2 女性

問 2. グループ構成は

1 ソロ 2 ボーカルユニット () 人 3 バンド () 人 4 その他 ()

問 3. お住まいの都道府県はどこですか？

問 4. 東京都内で活動している方に質問です。

ヘブンアーティストに登録してらっしゃいますか？

1 はい 2 いいえ

問 5. ソロの方は年齢、グループの方は平均年齢

1 19 歳以下 20 歳代 30 歳代 40 歳以上

問 6. 路上ライブ、ストリートミュージシャンを始めてどれくらい経ちますか？

(例；8 ヶ月、3 年間)

問 7. どのくらいのペースで路上ライブをやっていますか？(例：月 1 回、週 2 日で一日に 3 回場所を変えて...)

問 8. 一回の路上ライブでどのくらい演奏しますか？(例：1 時間、30 分間)

問 9. 路上ライブする目的は？複数選択されても構いません

a. 路上ライブ以外のライブの告知

b. CD の販売

c. 練習

d. 自分または自分たちを知ってもらうため

e.自分の曲または自分たちの音楽を知ってもらうため

f.ファンを増やすため

g. その他（ ）

問 10. 問 7 で答えて頂いた a b c ...g それぞれにお聞きします。

【a】. を選択した方は路上ライブでの告知によって結果は出ましたか？

1 はい 2 いいえ 3 良く分からない

『はい』と答えた方は路上ライブ以外のライブに聴きに来てくれる人が何人くらい増えましたか？

約（ ）人

【b】. を選択した方は『路上ライブでの CD の売り上げ』に結果は出ましたか？

1 はい 2 いいえ 3 良く分からない

『はい』と答えた方は一回の路上ライブでおよそ何枚売れましたか？

約（ ）枚

【c】. を選択した方は路上ライブで立ち止まってくれる人が増えましたか？

1 はい 2 いいえ 3 良く分からない

『はい』と答えた方は路上ライブで立ち止まってくれる人は何人くらい増えましたか？

約（ ）人

【d】. を選択された方は何かしら結果が出ましたか？

1 はい 2 いいえ 3 良く分からない

『はい』と答えた方はどういった結果が出ましたか？

【e】. を選択された方は何かしら結果が出ましたか？

1 はい 2 いいえ 3 良く分からない

『はい』と答えた方はどういった結果が出ましたか？

【f】. を選択された方は何かしら結果が出ましたか？

1 はい 2 いいえ 3 良く分からない

『はい』答えた方はどういった結果が出ましたか？複数選択されても構いません

a. CD を毎回買ってくれるファンが増えた

b. 路上ライブ以外のライブに毎回聴きに来てくれるファンが増えた

c. 路上ライブに毎回聴きに来てくれるファンが増えた

d. その他（ ）

問 11. 路上ライブの良いところは何ですか？ 複数選択されても構いません

a. 不特定多数の方に聴いてもらえる

b. 無料で演奏することが出来る

c. ミュージシャンとの横のつながりが出来る

d. プロモーション効果がある

e. その他（ ）

問 12. 路上ライブのおススメスポットがありましたら教えてください。

アンケートにご協力頂きありがとうございます。